

地 域 再 生 計 画

1 地域再生計画の名称

大間クロマグロによる魅力あふれる港づくり計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

青森県

3 地域再生計画の区域

青森県下北郡大間町及び佐井村の区域の一部（大間港、仏ヶ浦港及び下手浜漁港）

4 地域再生計画の目標

4-1 地域の現況

○大間町

大間町は本州最北端に位置し、津軽海峡に面しているため、良好な漁場に恵まれていることから、水産業が町にとって重要な基幹産業となっている。中でも大間港や下手浜漁港で水揚げされるクロマグロは最高級品で、「大間まぐろ」というブランドネームで全国的に知れ渡っている。また、大間のマグロ漁師の娘を主人公とした連続テレビ小説「私の青空」による知名度向上を契機として、マグロ解体ショー等のイベントも実施されており、今では「マグロを食べに行く町」として、大間港～函館港の定期フェリー等により全国から観光客が訪れている。

このような状況下で、大間港及び下手浜漁港は地域経済にとって、「大間まぐろ」の水揚げ・流通、観光を支える非常に重要な港である。

○佐井村

佐井村は下北半島の西側に位置し、名勝及び天然記念物仏宇多（仏ヶ浦）を有している。仏ヶ浦ではおよそ2kmにわたる海岸線に、長年の風雨と荒波によって侵食された仏像を思わせる奇岩が連なり立っており、海の青と山の緑と相まって霊験あらたかな空間が形成されていることから、平成28年に下北ジオパークとして認定され、毎年8万人を超える観光客が訪れている。

そして仏ヶ浦を訪れる観光客のほとんどが、仏ヶ浦港と周辺の漁港を航行する遊覧船を利用しており、仏ヶ浦港は地域経済にとって、観光を支える非常に重要な港である。

4-2 地域の課題

クロマグロ漁の基地となっている大間町の大間港では港内静穏度の不足、下手浜漁港では係留施設の不足等により、漁業活動に支障が生じている。

また、佐井村の仏ヶ浦港では港内静穏度の不足により、遊覧船就航率に悪影響が出ている。

このような状況が続く場合、大間町及び仏ヶ浦による観光コースの形成や観光客

へのクロマグロの安定的な販売に支障が生じることにより、地域の水産振興・観光振興に悪影響を及ぼすことが予想される。

4-3 計画の目標

こうした状況を踏まえ、大間港、仏ヶ浦港、下手浜漁港の3港を総合的に整備することにより、大間町及び仏ヶ浦による観光コースの形成や観光客へのクロマグロの安定的な販売を支え、下北地域の更なる水産振興・観光振興を図る。

- (目標1) 仏ヶ浦における観光入込客数の維持
85,000人(平成30年)→85,000人(令和7年)
- (目標2) 大間港の利用漁船隻数の維持
77隻(令和1年)→77隻(令和7年)
- (目標3) 下手浜漁港の係留待機時間の削減
144時間/年(平成30年)→0時間/年(令和7年)

5. 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

大間港では、波除堤を整備し、老朽化した施設の改良を実施することで、漁業者が利用する船揚場部の静穏度を高め、施設の延命化を図ることにより、利便性の向上及び安定した漁業活動を目指す。

仏ヶ浦港では、防波堤を整備し、老朽化した栈橋を補修することで、港内の静穏度を高め、施設の延命化を図ることにより、遊覧船就航率の向上及び地域の観光拠点としての強化を目指す。

下手浜漁港では、突堤を係留施設として改良することで漁船係留作業時の待ち時間を解消し、また係留施設等に車止めを設置することで漁港利用者の転落事故を防ぎ、漁業活動の安全性・効率性を向上する。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

(1) 地方創生港整備推進交付金【A3010】

[施設の種類と事業主体]

- ・港湾施設(大間港、仏ヶ浦港) 青森県
- ・漁港施設(下手浜漁港) 青森県

[事業期間]

- ・港湾施設 令和3年度～令和7年度
- ・漁港施設 令和3年度～令和5年度

[整備量]

- ・港湾施設 外郭施設、係留施設、臨港交通施設
- ・漁港施設 係留施設、漁港施設用地

[事業費]

総事業費	1,180,000 千円
港湾施設	1,080,000 千円 (うち交付金 406,000 千円)
漁港施設	100,000 千円 (うち交付金 50,000 千円)

[事業の実施状況に関する客観的な指標及び評価の方法]

(令和/年度)	基準年	R3	R4	R5	R6	R7
指標 1 観光交流客数の維持	R1					
仏ヶ浦港への遊覧船就航率	92.5%	93.5%	94.5%	95.5%	96.5%	97.5%
指標 2 持続可能な漁業経営	R1					
大間港の利用漁船隻数	77	77	77	77	77	77
指標 3 年間漁獲量の維持	H30					
下手浜漁港における 1 経営体 当たりの年間漁獲量 (t/年)	2t/年	2t/年	2t/年	2t/年	2t/年	2t/年

毎年度終了後に青森県が必要な調査等を行い、速やかに状況を把握する。

[事業が先導的なものであると認められる理由]

(政策間連携)

港湾及び漁港を一体的に整備することにより、下北地域の観光における施設間連携が強化され、大間町及び仏ヶ浦による観光コースの形成や観光客へのクロマグロの安定的な販売により更なる水産振興・観光振興を図るという点で先導的な事業となっている。

港湾施設（大間港、仏ヶ浦港）は青森県国土強靱化地域計画に明記された事業である。

5-3 その他の事業

地域再生法による特別の措置を活用するほか、「観光交流の促進、交流人口の拡大」を達成するため、以下の事業を総合的かつ一体的に行うものとする。

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当無し

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

(1) 大間町ブルーマリンフェスティバル

内 容 大間町の観光 PR を目的に行うイベント。舟競争大会、マグロ解体ショー、歌謡ショーなどを実施。

実施主体 大間町

実施期間 毎年8月開催

(2) 大間マグロ感謝祭

内 容 大間町の観光 PR を目的に行うイベント。マグロをはじめ新鮮な海鮮料理を楽しむことができるほか、特産物の販売、マグロの解体ショーを実施。

実施主体 大間町観光協会

実施期間 毎年10月開催

(3) みなとオアシス大間

内 容 フェリーの重要拠点である津軽海峡フェリーターミナルや、本州最北端の大間崎エリア、9月、10月の毎週日曜日にマグロの即売会等が開催されているキュウレイ（旧冷蔵庫）周辺エリアで構成されており、地域住民の交流や観光の振興に通じた地域の活性化に寄与している。

実施主体 大間町

実施期間 平成28年3月認定

6 計画期間

令和3年度～令和7年度

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況に係る評価の手法

4に示す地域再生計画の目標については、計画期間の中間年度及び計画年度終了後に青森県で必要な調査等を行い、速やかに状況を把握する。

定量的な目標に関わる基礎データは、市町村や事業者への聞き取り調査から集計したデータを用い、中間評価、事後評価の際にも、同様の調査から集計を行うこと等により評価を行う。

7-2 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

	(基準年度)	令和5年度 (中間年度)	令和7年度 (最終目標)
目標1 仏ヶ浦における観光入込客数の維持	(H30) 85,000人	85,000人	85,000人
目標2 大間港の利用漁船隻数の維持	(R1) 77隻	77隻	77隻
目標3 下手浜漁港の係留待機時間の削減	(H30) 144時間/年	0時間/年	0時間/年

(指標とする数値の収集方法)

項 目	収集方法
仏ヶ浦における観光入込客数の維持	青森県観光入込客統計より
大間港の利用漁船隻数の維持	大間町への聞き取り調査より
下手浜漁港の係留待機時間の削減	現地調査、漁業者への聞き取り調査より

・目標の達成状況以外の評価を行う内容

1. 事業の進捗状況
2. 総合的な評価や今後の方針

7-3 目標の達成状況に係る評価の公表の手法

4に示す地域再生計画の目標については、中間評価及び事後評価の内容を、速やかに青森県のホームページ上で公表する。